

## 《平成 28 年度・第 1 回拡大役員会議事録》

日時 : 平成 29 年 2 月 6 日(木) 18 : 00~19 : 30

場所 : 同窓会室

出席者 : 学校) 村田校長、石田事務長、大前教諭、菅教諭、  
同窓会) 佐伯会長、中嶋・浅田・三好・安本・山口副会長、牟禮・神原会計  
事務局) 細田・吉田 (記)

議長 : 三好副会長

## 【報告事項】

## 1. 高校の動向について (村田校長)

- ・ 昨年 9 月に開催した記念祭 (体育祭) で 37 名の生徒が熱中症に罹り、うち一名は重篤な状態となり救急搬送された。幸い、その後意識が回復し現在は通常生活を送っている。このことから、生徒の安全を最優先させるため来年度より記念祭を分割開催 (6 月体育祭、9 月文化祭) とすることが決定した。
- ・ 1 月 14 日、15 日センター試験が終わり、全体として平均点が上昇する結果となっている。2 月末からの国公立大二次試験に向け講習会などで対応し、昨年以上の成績を修めたい。

## 2. 100 年記念事業実行委員会の活動

## (1) 実行企画委員会の組織見直し (佐伯会長)

- ・ 募金委員会の下部組織に位置づけていたイベント委員会を、今後、8 月竣工のクリエイトラボや、来年 1 1 月の記念式典等と密接に連携する必要があることから、実行企画委員会を構成する委員会とする。
- ・ これに伴い、イベント委員会委員長の山田氏 (高 21 期) は退任し、新委員長として今川氏 (高 21 期) が就任し、これまで同委員会が独自に交渉していた連続講座の講師候補者に対し、今川委員長と実行企画委員会と調整を図り交渉を継続する。

## (2) 募金委員会 (佐伯会長)

- ・ イベント委員会が企画した第 1 回連続講座のオダサク講演会が 1 月 8 日に実施され、124 名の参加があり、約 11 万円の募金が集まった。
- ・ 特定寄附金については、本日時点で 4,988 万円となり、ホームページには目標額達成により終了のアナウンス済である。

## (3) 記念誌委員会 (安本副会長)

- ・ 記念誌委員会も計 10 回 (内 2 回は DNP 参加) の開催となり、これまで記念誌の構成についてアウトラインを検討してきた。各期 (高 1 期~71 期) 及び各クラブに 1 頁を割り当てるため、今後は会員向けに具体的に原稿の依頼を開始する。(記念誌委員会名で事務局よりメール送信 or 文書発送)
  - 幹事が存在する期 : 幹事あて
  - 幹事不在期 : メールアドレス登録者全員あて

- 現存するクラブ：顧問の教諭の連絡先を学校よりいただき依頼する
- 現存しないクラブ：10年間活動していたクラブを対象とし、幹事や役員のつてをたどって担当者を発掘する。

- ・高津の群像についてⅠは旧制中学、Ⅱは新制高校を対象としている。会報で募集したところ3件の推薦があった。若手が少ないため教職員から対象者を推薦していただきたい。
- ・コラム欄を作り、昔の上六界隈の様子に掲載や卒業時の記念品特集、食堂メニューの変遷など検討している。PTA会報の読み込み等で情報を集めていきたい。

#### (4) クリエイトラボ委員会（浅田副会長）

- ・記念祭での募集や学校から提出いただいたワークシートは総数363枚となった。9月～11月にかけて委員会にてそれらの読み込みと取りまとめを行い、施設の利用イメージを作成した（会報や100周年記念HPに掲載済）。3月上旬に業者選定の公募方針を固める予定で進めている。

### 3. 群芳HPへの不正アクセスについて（山口副会長）

- ・1月20日～21日に不正な英字記事の掲載が頻発し、22日にHPを一時閉鎖した。調査の結果、HP作成ソフトであるWordPressへの不正アクセスが確認されたが、会員情報を管理しているシステムとは別システムとなるため、個人情報の漏洩等は発生していないことを確認済。群芳HPを別アカウントにて移行後、ID・パスワードの変更を実施して24日にHP再開となった。
- ・100周年記念事業HPには不正アクセスはなかったものの、同様のWordPressを使用しているためパスワードの変更を実施した。

## 【協議事項】

### 1. 寄附施設の公募・入札について

#### (1) 公募方針について

- ・ラボのみ入札で空調は対象外で検討していたが、昨年12月に学校側と意見交換し、「ラボ+空調」でDNPに統括して貰うこととした。その後、DNPが現地調査を実施した結果、空調設備に必要なガスや電気系統の別敷設が必要となる可能性があることが判明し、引き続き検討する必要がある。

#### (2) ラボの公募について

- ・3月上旬めどに基本レイアウトを作成、3月15日～3月末の予定でHPでの公募を検討中。8月26日の竣工を目標としているので4月には業者を決定したい。2月下旬には小委員会を開催して入札要綱等についてまとめ、3月2日開催のDNP実行企画会議に諮る予定。

#### (3) 空調設備の公募について

- ・調査・設計・施工をどのように公募内容に織り込むかについて、引き続き検討を進める。

### <質疑応答>

Q：ラボの運用については学校側に任せることになるが、今年8月引き渡しから翌年11月100周年式典開催までの1年3か月は、実行企画委員会もソフト・ハード面で学校側のサポートを行いたい。運営規約の作成の進捗はどうなっているか。（佐伯会長）

A：2月13日の運営委員会（職員会議）で、基本的には平日の行事予定を決定し、2月16日に一旦府教委へ提出する予定である。2月13日の会議後に浅田副会長へ内容をお伝えする。（村田校長）

Q：運営規約については、当初は80%程度の完成度で開始し、試行錯誤しながら1年3か月間で徐々に完成度を上げて行くスタンスでどうか。（佐伯会長）

A：問題ない。学校利用のクリエイトラボの窓口は小路教諭とたき口教諭で開始する予定である。同窓会と連携しながら対応していく。（村田校長）

Q：学校利用について実際の受付開始はいつ頃を予定しているのか。（佐伯会長）

A：・まだ未定である。（村田校長）

・具体的な利用は実物を見ないとわからないのではないかと。まずはイベント委員会・実行企画委員会が見せた後の受付開始がスムーズではないかと。

（牟禮会計）

Q：空調設備について、名前の挙がっている施工会社へはどう対応すればよいのか。（佐伯会長）

A：昨年の国税局への申請のための図面作成のみで、その後特に動きはない。公募基準については実行企画委員会で決定していただいて問題ない。（石田事務長）

Q：公募の最終決定には学校・PTA・高風クラブの参加をお願いしたい。（佐伯会長）

A：了解した。（村田校長）

Q：高69期生の卒業記念品として、ラボで利用可能なプロジェクターをお願いしたい。（浅田副会長）

A：すでに10万円程度の市販品を購入済であるので、型番をお伝えする。（石田事務長）

## 2. 100周年記念式典準備の今後の進め方について

・参加者は学校関係者がほとんどであると想定されるので、学校主催の式典として実施したい。元大阪大学総長の宮原氏には式典での基調講演を検討していただいていることを踏まえ、できるだけ早急にPTAや高風クラブの意向について確認する。（村田校長）

## 3. クリエイトラボ贈呈式、総会、懇親会について

・例年とは異なり、今年の総会（8月26日）は学校にてラボ贈呈式を実施し、自由にラボを見学できるホームカミングデーを企画している。その後、会場をアウリーナに移して総会・懇親会を開催する案が出ている。寄贈式に先立ち、講堂にて在校生向けに審良氏に記念講演を依頼し、その後ラボにて生徒とのディスカッションを企画してはどうか。

<質疑応答・意見>

・8月の寄贈式に講演会となれば、時間的に厳しいのではないかと。（牟禮会計）

・8月26日はすでに新学期が始まっており、9月上旬に開催予定の文化祭の準備等で学校全体が落ち着かない時期であるが、14時ころにラボにて寄贈式のみを開催するのであれば特に問題はないと思われる。（大前教諭）

Q：9月の文化祭にラボのお披露目も兼ね、審良氏の講演会を開催するのはどうか。（佐伯会長）

A：文化祭は大変な混雑が予想されるので、落ち着いて講演会を開催するのは難しいのではないかと。（大前教諭）

⇒寄贈式は8月授業開始日に学校関係者を若干名集めて実施し、8月26日は同窓生に自由にラボの内覧してもらうホームカミングデー(例えば14:00~16:30)とし、17:00からホテルアウリーナで総会、18:00から懇親会とする案で幹事会に諮ることにした。

#### 4. 幹事会議題(協議事項)について

(1) クリエイトラボ・空調設備の公募について

公募内容の詳細については、幹事会で報告・協議する。

(2) 100周年式典について

幹事会では校長から説明していただく。

(3) クリエイトラボ贈呈式等について

本日の議論をもとに幹事向けに具体案を提示する。

(4) 次期会長について

100周年事業以降を担う次期会長候補者の推薦を、幹事に依頼する。

(5) 100周年記念品について

式典参加者等に対し、記念品は準備してはとの意見が寄せられているので、幹事会で協議する。

#### 5. その他

(1) 大塚善章氏コンサート

・5月14日の大塚善章氏コンサートでは、録音・録画を実施し、記録として残すことで大塚氏の了解はいただく予定。なお、費用は神原氏が負担する。(神原会計)

⇒学校として、生徒が撮影対象となる場合は事前に了解を得ておく必要があるので、別途調整を行いたい。(村田校長)

・大塚氏プレコンサートには、学校側200名(在校生・保護者)、同窓会側100~200名を想定しており、イベント新委員長の今川氏が学校側との交渉に当たる。(佐伯会長)

(2) スケジュール

・次回拡大役員会は6月下旬~7月上旬に開催で日程調整を行う。

以 上